



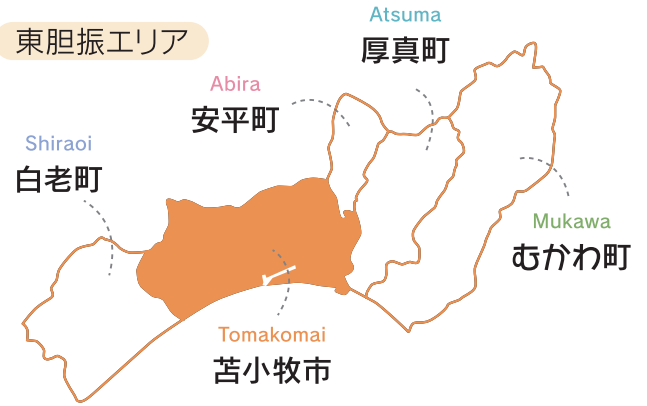
東胆振地域

事後学習シート



苫小牧市

ウトナイ湖は、1991年にラムサール条約に登録された湿地であり、現在までに270種を超える鳥類が確認されています。「見る・聞く・触れる」体験を通してウトナイ湖の歴史や環境保全の大切さを学ぶことができます。

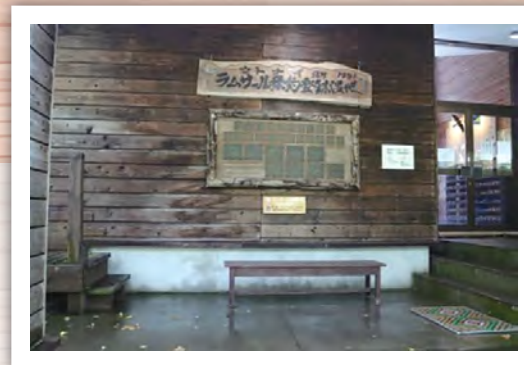


道の駅ウトナイ湖

苫小牧市内の観光情報について知ることが出来る観光案内所や、ウトナイ湖が一望できる展望施設があります。

公益財団法人 日本野鳥の会 ウトナイ湖サンクチュアリ ネイチャーセンター

国内屈指の渡り鳥の中継地であるウトナイ湖でのウォークラリーなどを通じて、ウトナイ湖周辺の自然環境や野生鳥獣について学ぶことができます。



ウトナイ湖 野生鳥獣保護センター

自然環境や野生鳥獣について、展示、解説や情報提供などを行うほか、野生鳥獣との適正なふれあい方や自然保護思想の普及啓発、自然環境についての教育、学習なども行っています。

所要時間 上記3施設で2時間程度

費用 1人あたり1,000～2,000円込
(3施設体験プログラム)

最大人数 要相談
※日程調整の上、平日(水～金曜日)対応可能

お問い合わせ

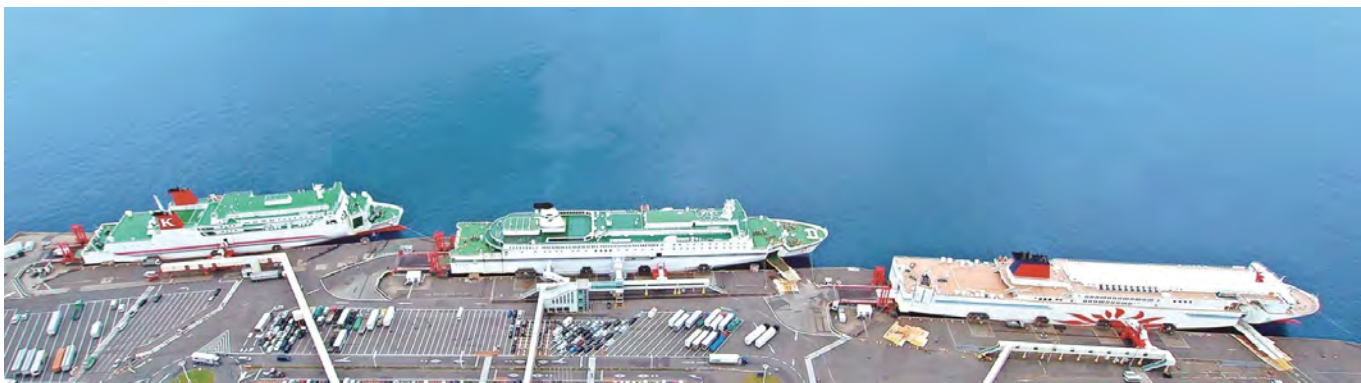
とまこまいクリエイティブラボ合同会社(担当:磯貝)

北海道苫小牧市元中野町4丁目14番13号

☎ 090-2697-4277

苫小牧港は、カーフェリー、RORO船、内外航定期コンテナ船など、多数の航路を有している国内有数の国際貿易港です。

その強みを活かし、苫小牧港では他にはない**海事・物流産業の施設見学**を行うことが可能です。各現場を実際に見学したり、そこで働く方の話を聞いたりなど、日常生活では知ることの出来ない**海事・物流産業**について考えるきっかけとなる学習プログラムをご用意しています。



苫小牧港で海事産業を学ぶ

海事産業の役割や、仕事内容を、実際に見て、聞いて、学ぶことができます。



フェリーターミナル

フェリーターミナルでは、苫小牧港の歴史を学ぶことが出来るとともに、海上輸送の役割や重要性などを学ぶことができます。



船員・社員などによる講話

船長や船員、各社員などによる特別講話を行うことが可能です。海や港に対する理解を深めることが可能です。

苫小牧港で物流産業を学ぶ

貨物が我々の元に届くまでの各工程を、実際に見て、学ぶことができます。



輸 送

国内、海外関係なく、一度に大量の荷物を運ぶことが出来る海上輸送は、日本の貿易輸輸出量の約9割強を占めています。苫小牧港では停泊中の貨物船等を見学することができます。



荷 役

船への積み込みや積み下ろしの作業を荷役といいます。日々行われるこの荷役の様子を間近で見学することができます。



保 管

苫小牧には貨物の特性に合わせて保管が出来る倉庫が数多くあります。次の運送手段に切り替えるための一時保管場所として、どのように保管・管理がされているのかを見学することができます。

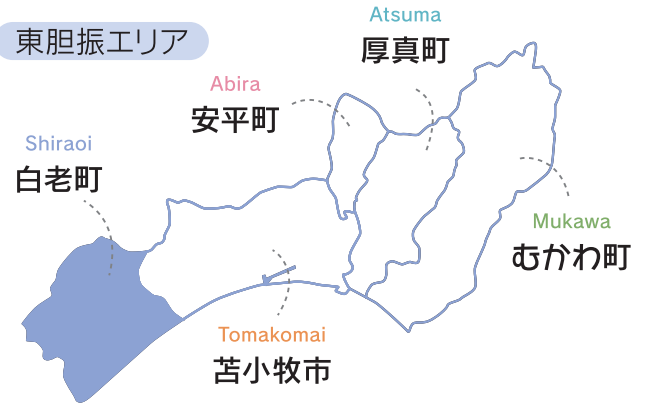


運 送

トラックは、倉庫から我々の元に貨物を運ぶ基幹的役割を担っています。海上輸送と陸上輸送の結節点を担うトラックが果たす重要な役割について学ぶことができます。

白老町

白老町は、海、山、川、湖、森林など、豊かな自然を体感することができるアクティビティや、北海道の先住民族であるアイヌの歴史と文化に触れる体験など、**自然から歴史まで、様々な分野**について学ぶことができます。



体験工房コロポックル

白老の中でも体験では歴史が古く、木彫り体験やアウトドア体験など15種類以上の体験をご用意しています。体験から食事までコーディネート可能です。

費用 1,700円別

開館時間 9:00~16:00

閉館日 12月29日~1月3日

最大人数 ~500名(体験メニューにより異なる)

所要時間 60分~ ※体験メニューにより異なる

お問い合わせ 株式会社 協業民芸 北海道白老町東町2丁目5番5号 ☎0144-82-2366

仙台藩白老元陣屋資料館

元陣屋の絵図面や古文書、武具など約300点の資料を豊富に展示し、仙台藩による幕末の北方警備の歴史を伝えています。

費用 小中学生:150円(20名以上120円)
高校生以上:300円(20名以上250円) (ガイド要相談)

開館時間 9:30~16:30

閉館日 月曜日(祝日の場合翌日) 12月29日~1月3日

最大人数 ~60名程度



所要時間 60分~90分

お問い合わせ 北海道白老町陣屋町681番地4 ☎0144-85-2666

ポロトの森自然散策ガイド

森を散策しながらアイヌ民族の持つ世界観を通じた自然と人間の関わりについての知識を深めながら、生息している動物や植物等を学ぶことができます。

費用 バス1台(20~30名乗車想定)につき、
小学生10,000円込/中学生13,000円込
高校生以上15,000円込

最大人数 ~50名程度

所要時間 60分~120分



お問い合わせ

一般社団法人 白老町観光協会 北海道白老郡白老町若草町1丁目1番21号 ☎0144-82-2216

厚真町

厚真町で北海道観測史上初の最大震度7を観測した「北海道胆振東部地震」は、尊い人命や財産等に多大なる被害をもたらしました。被災地の復旧の様子や当時の体験を伝え、災害について考えるきっかけとなる体験です。

東胆振エリア



被災地ガイドツアー

車両1台につき1人の現地ガイドが乗車し、地震当時の様子を語りながら、山腹崩壊地(復旧工事実施地)を巡ります。

所要時間 60分~90分

費用

ガイド1名につき11,000円込

最大人数

バス9台まで(要相談)

※バスは各自でご用意ください



避難所運営体験

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所内の様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

プレイヤーは、避難者の属性を考慮しながら部屋割りを考え、生活空間を確保し、加えて視察や取材対応といった出来事に対して、どのように対処するかを自由に話し合いながら、ゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。

所要時間 90分~120分

費用 1名当たり1,320円込

最大人数 130名(1サイクル)

(被災地ガイドツアーとの入替制も可、要相談)



お問い合わせ

一般社団法人 厚真町観光協会

北海道勇払郡厚真町字本郷305-2

☎0145-29-7711

むかわ町

むかわ町は海、山、川と豊かな自然環境に恵まれた、「人と自然が輝く清流と健康のまち」です。穂別地区で発掘され、2019年に新属新種と認定された恐竜「カムイサウルスジャポニクス」をはじめ、アンモナイトなどの化石を間近で見て学ぶことができます。

東胆振エリア

Atsuma

厚真町

Abira

安平町

Shiraoi
白老町

Tomakomai
苫小牧市

Mukawa
むかわ町

むかわ町穂別博物館

博物館では、中生代白亜紀後期(穂別地域に分布する地層は約1億年前から7,000万年前のもの)に生息していた首長竜・モササウルス・アンモナイト・イノセラムスなどの様々な化石や復元レプリカを見学することができます。

恐竜をはじめ、古生物の進化や移り変わり、北海道の土地の成り立ちについて学ぶことができます。また、ワークシートを利用した、各自での学習も可能です。(要事前連絡)

所要時間 館内見学約30分

費用 小中高生100円込
(10名以上団体料金50円込)

開館時間 9:30~17:00(最終入館16:30)

休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始

最大人数 20名程度(多人数の場合は入替)



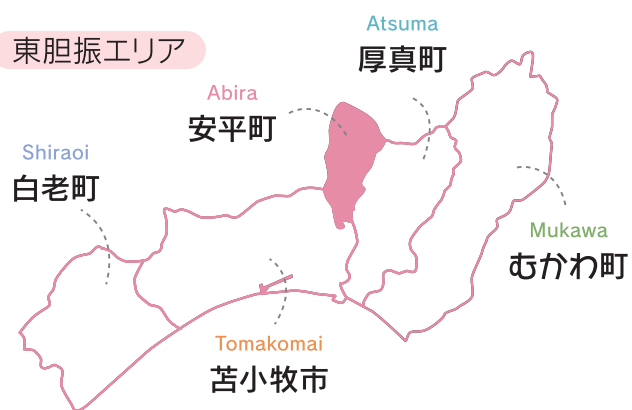
お問い合わせ

むかわ町穂別博物館 北海道勇払郡むかわ町穂別80番6 ☎0145-45-3141

安平町

安平町追分地区は、かつて道内有数の機関区を有し、国鉄の城下町として栄えていました。空知の良質な石炭を室蘭まで運搬するのに活躍した蒸気機関車『D51 320号機』を保管しており、我が国の成長を支えた日本遺産『炭鉄港』を学ぶことができます。

東胆振エリア



道の駅 あびらD51ステーション

2019年にオープン。
新千歳空港から車で30分、札幌から1時間圏内で訪問可能な安平町にある道の駅です。

お手洗い休憩はもちろん、地域の農産物直売所やテイクアウトコーナー、特産品販売・ベーカリーコーナーなどがあり、地域の観光情報、歴史・文化などに触れることができます。

また、施設内には鉄道資料館が併設されており、蒸気機関車「D51 320号機」を迫力のある姿のまま見ることが出来ます。

お手洗い休憩だけではもったいない、安平町の魅力がたくさん詰まった道の駅です。

お問い合わせ ※道の駅施設に関するお問い合わせ

一般社団法人 **あびら観光協会** 北海道勇払郡安平町追分柏が丘49-1 ☎ **0145-29-7751**

